

No.333
2018
6/1



はちおうじ

JR東労組
八王子地本
八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索



八地申
第24号

5/31 第1回交渉行う!

「西八王子駅および奥多摩駅の業務委託」に関する申し入れ

5月31日、八地申第24号「西八王子駅および奥多摩駅の業務委託」に関する団体交渉を行い、共通項目および西八王子駅第2項まで終了しました。

会社は、業務委託可能の根拠として、駅の業務委託については、エルダー社員の雇用の場における選択肢の拡大を前提としつつも、「当社を取り巻く環境の変化」「駅の要員事象」「駅業務を担う人材育成」を踏まえて実施していく考えである。と回答しました。地本は、旅客流動が多い駅であり駅業務を習得するうえで重要な駅であること、また「観光拠点駅」「防災の拠点」としての役割を失うことにつながることから今回の施策を見直しJR本体で運営すべきと主張をしましたが、対立となりました。改めて、安全・サービスレベルの維持向上を図ることなくして施策の実施はあり得ないことを求めています。

組合

西八王子駅旅客流動が多い駅であり駅業務を習得するうえで重要な駅であること、また奥多摩駅は、「観光拠点駅」「防災の拠点」としての役割を失うことにつながることから今回の施策を見直しJR本体で運営すべきだ。

対立!

西八王子駅・奥多摩駅を業務委託するのであれば、異常時等における安全レベルを確保するためにも「駅務責任者」を配置するように要請すべきだ。

会社

エルダー社員の雇用の場における選択肢の拡大を前提としつつも、「当社を取り巻く環境の変化」「駅の要員事象」「駅業務を担う人材育成」を踏まえて実施していく。組合の指摘は理解するが、今回の施策を実施したとしても、安全を維持し、サービスレベルの向上は図れると考えていることから業務委託は可能である。

業務運営についてはJESSが決定することになる。しかしながら、JESSにおいてブロック変更として西八王子ブロックを新設し、ブロック長の配置を行っていくことを調整している。奥多摩駅については、現行も管理者配置をしていないことからその必要性はないと考えている。

安全レベルを維持し、サービスレベルを向上を図るために西八王子ブロック長の配置検討を確認

本体においても助勤体制なくして業務運営ができない状況だ。「その駅のプロ」を作ることが安全の近道であり、かつ地域との信頼関係を構築するうえで重要なことである。したがって、JESSにおいても助勤前提の運営を行わないように指導すべき。

業務委託を実施するにあたっては、業務内容・作業ダイヤ・営業時間等については現行を基本とすること。

エルダー社員の働きがい向上のために、職場内の労働環境の改善を図ること。また、奥多摩駅の工事計画を示すこと。

業務運営については、JESSにおいて決定することとなる。

現在、作業ダイヤについては調整を行っているところであり、現場の声に踏まえて実施していく考えである。

特に、奥多摩駅については、ホリデー快速1号対応をどのようにすべきか調整していく。

奥多摩駅改良工事を行っていく。2018年9月～2019年3月末を予定している。また、バックヤード整備についても現場の声に踏まえて取り組んでいく考えである。

**JR 本体が責任をもって、安全・異常時に強い体制を確立すること
業務委託あいきの施策としないためにも向き合っていきます!**